企業・団体名（　株式会社ササキ　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・「やまなし心のバリアフリー宣言事業所」に登録、様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が相互に理解を深めコミュニケーションをとり支えあう共生社会の実現を目指した職場を目指す					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・管理職を対象のイクボス研修会、子育て中の男性社員を対象のイクメン研修会、パパママ座談会、仕事と家庭の両立の悩み相談などの学習会を実施、他者への理解を深めた ・ハラスメント撲滅宣言、相談窓口設置 ・『LGBT』性的マイノリティーのセミナーを課長研修で実施。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・多様な働き方を導入、時間単位で休暇を取得しやすい環境づくり ・週1回、残業休出時間・有給休暇管理表を作成して全従業員に配信 ・多能工化、作業の無駄取り、増員を行い、残業過多を抑止								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・ササキ倫理基準を整備し、いかなる場合も敬意を持って接する ・JICA・経済産業省・日本生産性本部他の委託に基づき、外国人研修員を積極的受入を実施				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・厚生労働省：あんぜんプロジェクトに参加し、労働災害防止に向けた活動を行い、結果として「安全コンクール」に過去13作品が優良な事例に選ばれた。 ・エイジフレンドリーガイドライン・エイジアクション100を活用、高年齢者の働きやすい職場環境に配慮、怪我防止・健康維持にも繋がっている			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・心の健康づくりの計画に関する規程を作成、社内に周知 ・メンタルヘルス相談窓口を設置 ・メンタルヘルス対策として毎月１回上長との面談(1 on 1)を実施。またストレスチェックの結果により産業医や役員などとの面談を設定し重症化を防ぐ工夫をしている			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・障害者を積極的に採用。障害者と共生の為に社員と定期面談を通して、互いの悩みを解消。障害者職業生活相談員資格取得者を増やし公私ともにサポート。また、職場内での障害者雇用への理解促進の為、講師を招いた講座や個別の障害特性を理解する為の勉強会実施。山梨県内初の「もにす認定取得」 ・高齢者では、技術継承の場をサポート、「範師」役職制度創設などが評価され高年齢者活躍企業コンテストで最優秀賞を受賞。 ・女性キャリアアップ研修会に積極的に参加。2020年7月現在、女性管理職割合11.1％が産業平均値3.3％より大幅に上回り、同年11月に厚労省『えるぼし』2つ星認定 ・若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業「ユースエール認定」取得。 ・将来世代応援知事同盟「将来世代応援企業賞」 ・山梨県「山梨えるみん」「山梨県男女共同参画推進事業者表彰」「YAMANASHIワーキングスタイルアワード優秀賞」 ・自身の体調や子育て、介護などの事情により毎日出社が難しい従業員や起業ニーズのある従業員の独立支援					○			○		○								
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・山梨県協会けんぽ、健保連に「健康事業所宣言」を行っている ・健康経営優良法人2021 中小規模法人部門（ブライト500）取得実績あり ・人間ドック会社補助制度 ・韮崎新工場では工場内にスポーツジム設置し、日常的な運動習慣につながるようハード面を整備			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・職務や役割に応じた研修体系の整備と実施 ・従業員のスキルアップの機会を提供している ・会社の急成長に伴い、大企業で定年を迎えた人や早期退職したマネジメント能力を有するシニア層の積極的中途採用し、大企業のノウハウを社内で発揮				○				○	○								

10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている							○		○							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・主力製品の主要材料はケーブルで、端尺や被覆のリサイクル業者を2014年に選定、リサイクル率90%以上を達成、環境に配慮した経営を実現。リサイクルの業務が障害者の仕事となり収入に繋がっている ・粘着テープ芯をリサイクルする『巻き芯プロジェクト』に参加、実績2018年5.2kg・2019年19.36kg・2020年29.15kg、段ボールや植樹などに甦りCO_2削減 ・エコキャップを回収し寄附する活動に協力										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・エネルギー使用量を把握、節電の呼びかけやポスターで削減に取り組んでいる ・新工場においては、空調の集中管理や電気/水道は人感センサー式を導入し資源の無駄遣い防止							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・4パーミル・イニシアチブの取り組みとして、弊社のワイン用ブドウの剪定枝を炭にして炭素を土壌中に貯留する方法を検討中 ・【ネットゼロカーボン】自動販売機の年間消費電力量に相当する植林を行い、二酸化炭素排出量を０にする取り組みに参加 ・CO_2排出量算定ツールを利用して温室効果ガス排出量を把握し、従業員に周知、削減に取り組んでいる							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令で決められた管理者を設置し、使用方法の勉強会や検診を実施している ・特定有害物質使用制限指令（RoHS指令）および半導体製造装置：鉛フリー対応			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・環境省「MY行動宣言」に参加し、生物多様性を守るアクションを実行しています						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・節水型のトイレを設置し、水の使用量を把握、節水の呼びかけやポスターで削減に取り組んでいる						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	ISO14001：2015認定取得している			○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・HPにて環境の活動について情報公開している												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・やまなしHFCクラスター（山梨企業団）に登録、情報交換会・技術提案会にはメンバーとして参加 ・再生可能エネルギー活用に向けた事業への取り組みとして、バッテリーエンジンを搭載したい次世代自動車やバスの開発に参加。特殊な技術を要するハーネス製造に取り組み、クリーンエネルギー技術への投資を促進している ・新工場には太陽光発電パネルを設置予定							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・新工場建設にあたっては、非合法材を使用していないことを施工業者に確認した												○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・事業活動に伴い発生するごみは正しく分別し資源へと甦らせ再利用する事を念頭に、協働銅線事業に参加。主要取扱材料である銅線は「再生銅線」に、被覆は「アスファルト・壁紙・おもちゃの材料」にリサイクルされる。銅線と被覆の分別は障害者就労支援施設へ委託されており、一般就労が難しい障害者の雇用を創出する						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・ササキ倫理基準および調達方針の整備と社内浸透、社外に関してはHPで公表 ・コンプライアンス研修（階層別）を毎年実施																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・ササキ倫理基準および調達方針の整備と社内浸透、社外に関してはHPで公表																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・ササキ倫理基準およびパートナーシップ構築宣言の推進宣言、設計情報の取り扱いに関する規約が整備されている ・商標登録								○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「個人情報の取り扱い（プライバシーポリシー）」を定めてHPで公開するとともに体制を整備している																○	

26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・自社開発製品の取り扱いはない																	○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・サプライチェーンの取引先および価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進める「パートナーシップ構築宣言」を構築					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策 ・ISO9001ならびにJISQ9100認証企業としての環境および安全に配慮した製品を提供			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・顧客からのクレームに対応など、品質を保証する仕組みを構築 ・顧客評価を社内で共有 ・ISO9001：2015およびJISQ9100:2016の認証取得									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・自社開発製品の取り扱いはない						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・管理職を対象のイクボス研修会、子育て中の男性社員を対象のイクメン研修会、パパママ座談会、仕事と家庭の両立の悩み相談など、ジェンダーの区別なく全ての従業員が働きやすく、平等に活躍できる職場環境の整備を目指す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・ワイン作りを足掛かりにスタートした農業分野は土地の荒廃防止、弱者の就労機会創出、地元経済循環を目指している				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・中学校に電子黒板、発達障害の放課後デイサービスにPC,フードバンク山梨に食品寄贈を行っている ・1本あたり5円フードバンクに寄付する自動販売機を導入している				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	・就労継続支援施設による社内パン販売を実施、施設は販売機会の増加、メリットを共有								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・NICollaboを活用した掲示板ならびに社内全配信のメールで法令遵守（コンプライアンス）の重要性を全社員に向けて配信している ・コンプライアンスチームによるコンプライアンス研修を実施している ・社内のコンプライアンス担当チームにより定期的に研修計画がされ、専門家によるWebまたはリアルの研修を毎年実施している。																	○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	2021年より発行する「中期経営計画 2021-2023」においても重要項目として取り上げています。2020年発足のCSR推進チームで社会課題に取り組む体制を作り、更に2022年度には更に内容を強化しサステナビリティ推進部を新設。各チームメンバー（コンプライアンス強化・サステナビリティ理解促進・DEI・次世代育成支援・SDGs・女性活躍推進）に旗振り役となり、以下の事項に取り組みます。 ①社内風土、土壌作り　文化形成 ②ササキで取り組む8項目の社内浸透、全従業員の理解と共有 ③社是「信頼される企業」とのリンク ④具体的施策の立案と実行								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・ササキ倫理基準およびCSR（企業の社会的責任）の推進宣言が整備されている ・内部および外部通報制度（匿名での通報窓口を設置）整備																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・サステナビリティ担当役員およびサステナビリティ推進部新設：部長の任命	○															○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・KAIZEN活動に積極的に取り組み、ECRS（改善の４原則）に分類して提案する独自の「KAIZEN制度」を導入、リスク＆リターンで目的を明確にして評価に繋げている ・品質、法令遵守、環境安全衛生面に関しては、リスクと機会一覧表を作成、リスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている ・労働環境に関しては、安全衛生委員会が定期的な巡視を行い、リスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	・CSRの具現化に向けて、サステナビリティ推進部を設置、活動としては「（コンプライアンス強化・サステナビリティ理解促進・DEI・次世代育成支援・SDGs・女性活躍推進」のサステナビリティ推進6チームを設置、また従業員主導の「社員満足委員会」が会社と共同で福利厚生に注力している ・環境面の法令に関しては、法規制担当者が年1回法令順守の状況評価																○	

41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握																○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・事業継続計画（BCP)の策定、定期的な訓練の実施									○		○		○			○	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	代表者が６５歳になった時点でスムーズに事業継承ができるよう、金融機関やコンサルタント、専門家らの助言を受けながら、あらゆる選択肢を検討している。							○	○									○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・シニア従業員の職場環境のKAIZXEN	・高齢者雇用ではキャリアを活かせるポジションとして、熟練高齢者に「範師」の役職を2017年に創出、新人社員への技術指導、外国人研修や工場見学担当。デスクは工場内の誰もが通る場所に設置、シニアが孤立しないため・世代の違う社員と感覚のズレを生まないように人の多く通るエリアを選んだ										○							
・働く従業員をサポート「ササキde宅配」導入	・誰一人取り残さない、すべての人の働きがいと経済成長を実現させるために、地元スーパーと連携し、ネット注文品を当日夕方職場に届けてくれる『ササキde宅配』を開始。仕事終わりにスーパーに寄っても閉店時間が早く惣菜や特売品が買えない等の声に対応。人の接触や密を避け、移動にかかるガソリン代・買い物時間の削減も期待できる。資源ゴミなどを収集場所に出す時間のない社員のために、社員は家庭の資源物を出社時に職場に持ってくるようし、スーパーから食材のデリバリーをした車が帰る際、資源物を回収するシステムも導入					○			○									
・休日の子供同伴出社制度を導入	・休日、子供の世話をしてもらう家族や施設の都合がつかない場合に、ササキ工場内に子供を同伴する制度を導入（コロナ禍においては平日も子供同伴出社も特別に運用）					○												
・持続可能な取り組みを社内浸透させる取り組み	・「サステナビリティ推進部」を新設し、独自の「コンプライアンス強化・サステナビリティ理解促進・DEI・次世代育成支援・SDGs・女性活躍推進」のサステナビリティ推進6チームを設置、また従業員主導の「社員満足委員会」が会社と共同で福利厚生に注力している							○										
・従業員の不妊治療をサポート	・不妊治療を医療機関で受ける際に『特別有給休暇』制度の導入（年間最大3日）			○		○												